

6 目黒区生涯学習実施推進計画改定素案に対する意見（要旨）と検討結果

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
1	個人	メール	計画の概要 記述に異論はないが、目玉の取り組みが見えない。目玉は、ICTの活用と、特別区全国連携プロジェクトとの具体的な見える化である。	第1章 第1 計画の概要	生涯学習課	2	改定計画では、基本目標の達成に向けて、施策をより効果的に進めるため、二つの重点プロジェクトを設定しています。重点プロジェクトの1「時代の変化に対応した主体的な学びの推進」により、対面とオンラインを組み合わせるなど新しい学習方法を活用した講座や、ICTを利活用できるようになるための講座等の充実を図ります。また、重点プロジェクトの2「地域に学び地域に生かす学び合いの好循環の環境の整備」により、生涯学習活動で得た知識や経験を生かす場を提供していく講座や、ボランティアの育成支援などの充実を図ります。 特別区間での連携については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。
2	個人	メール	生涯学習の課題解決とは学習情報の発信、学習・交流機会の充実、学びの仕組み構築である。具体例は、日本の元気、目黒の元気づくりのために、「物理的な距離を超える」ICTを活用し、区民が区施設等で、特別区全国連携地域の学習、文化芸術視聴による参加、オンラインによる意見交換会で更なる展開を目指すことが可能である。地方創世の芽生えもある。各地の大学、各種学校とも交流を広げてみてはどうか。また、MIFAと協働し各国大使館との連携による新事業、めぐろシティカレッジのオンライン講座の拡充、区在住、在勤シニア高齢者の専門知識、知見の活用も考えてはどうか。→施策の効果的、好循環の整備にも繋がる。	その他 全般	生涯学習課	2	生涯学習の課題解決のための学習情報の発信については、多様な手法により区民が生涯学習情報を得ることができるよう、紙媒体での情報提供も引き続き行うとともに、ICTを活用した学習情報提供の環境も整備していきます。 また、対面とオンラインを組み合わせるなど新しい学習方法を活用し、区内教育機関や民間事業者、NPO法人などとの連携を図りながら、社会教育講座や、連携講座、めぐろシティカレッジ実施など、多様な学習機会の提供に取り組んでいきます。 区内在住、在勤シニア高齢者の専門知識、知見の活用につきましては、生涯学習活動で得た知識や経験を生かす場を提供していく講座や、ボランティアの育成支援などの充実を図ります。 特別区間での連携については、今後の事業展開の参考とさせていただきます。
3	個人	メール	区民も受け身から能動への意識変換のため、東大駒場、東工大大岡山の授業の視聴参加を考えてほしい。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課	5	これまで区内等教育機関である、東京大学、東京工業大学、筑波大学附属駒場中学・高等学校、東京音楽大学、放送大学、東京医療保健大学との連携講座を実施してきましたが、区内等教育機関が行う授業そのものを区民が視聴できるといった機会は予定しておりません。 連携講座として、引き続き幅広い区民が参加しやすくなるよう、対面とオンラインを組合せた講座などについて段階的に実施していきます。

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
4	個人	メール	<p>2025年問題は生涯学習の大きな視点であり、社会構造全般に関わる大問題である。団塊の世代は、精神的・肉体的に若々しく、戦後社会を担ってきたという自負・自信を有し、IT、デジタルに詳しいという特徴を持つため、この世代を十分意識したうえで諸々の計画を策定すべきである。従来の高齢者を対象とした教育、学習を見直すことも必要。コロナ禍で大きく社会が変化しデジタル化、オンラインによるテレワーク、講演、教育学習でありコロナ後もこの方向性は社会にさらに浸透されるものと確信するので、こうした観点からも検討が必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ON LINEはかなりの部分で利用可能、スタッフの教育、習熟</li> <li>団塊の世代を地域の指導者として育成(ポテンシャルを有する人が多い)</li> <li>学習内容の見直し、従来よりさらにステップアップした内容、社会、経済、環境。</li> <li>健康づくりの機会の増大、体育施設の増強。増大が予想される医療費の削減、老々介護に貢献。</li> <li>区内高齢者のデジタル教育の推進に団塊の世代をリーダーとして担ってもらう。</li> <li>目黒区は区内に東大、東工大、東音大という有力大学が存し、シティカレッジその他に講座、講演会の協力を仰ぐ。</li> <li>上記大学による一般社会人を対象とした公開講座、講演会、コンサート等が既に多数あり区民への周知徹底。</li> <li>区内の大使館の協力により世界への理解を深める機会を作る。</li> <li>上記種々の教育、学習を幅広く認知徹底を図る。</li> <li>昨年7月から高齢者センターでは運動、脳トレ、語学(英語、中国語)、折り紙その他多数の講座をON LINEにて実施中、巣籠り生活の中で非常に貴重な経験をさせていただいた。</li> </ol>	その他 全般	生涯学習課	2	<p>これまでも中高年の地域参加を促進する社会教育講座として、中高年が仲間をつくり、地域で生き生きと活動できる内容の講座(中高年の地域デビュー講座)を実施してきましたが、「時代の変化に対応した主体的な学びの推進」により、対面とオンラインを組合せるなど新しい学習方法を活用した講座や、ICTを利活用できるようになるための講座等の充実を図ります。</p> <p>また、スポーツ講習会等、区民が気軽に取り組めるスポーツの機会や、健康増進、趣味、教養など、高齢者の趣味に応じた分野の事業や講座に加え、区内教育機関や民間事業者、NPO法人などとの連携を図りながら、社会教育講座や、連携講座、めぐろシティカレッジ実施など、多様な学習資源を活用した学習機会の提供に取り組んでいきます。</p>
5	個人	FAX	<p>P13基本目標の文言「区民が希望に合った学びの機会を得ることができ生涯学習」について  “希望に合った学び”という言葉からはそこに提示されている項目中に一致するものがある、という意味に受け取れる。生涯学習は主体的に学ぶことが基本と考える。P25の重点プロジェクトにも「時代の変化に対応した主体的な学びの推進」とある。であるならばいっそう新しい計画の顔ともいえる基本目標に「区民が主体的な学びの機会を得ることができ生涯教育」という文言を掲げることを強く希望する。</p>	第2章 第1 「計画」の基本目標	生涯学習課	5	<p>基本目標は、目黒区基本構想にある「年齢を重ねても、生涯にわたり区民一人ひとりが希望に合った学びの機会を得ることができ、その学びを地域の中で生かすことができる学びあいの好循環の環境をつくります」をもとに設定しています。生涯学習は主体的に学ぶことが基本であることはご指摘のとおりですので、生涯学習推進協議会でも議論し、重点プロジェクトを「主体的な学びの推進」としています。</p>
6	個人	FAX	<p>学習情報発信の充実について  P14に施策の方向として紙媒体での情報提供も引き続き行うとある。ICTの導入は時代の趨勢でもあるが、まだまだ使いこなせない人々も多くいる。そのためにも紙媒体のさらなる充実を望む。ちなみに「社教館だより」は情報満載でいつも手に取るのを楽しみにしている。</p>	第3章 施策の方向1 区民が学ぶきっかけとなる学習情報発信の充実	生涯学習課	2	<p>社教館だよりを楽しみにお手にとっていただきありがとうございます。ICTの利活用が進んでいますが、従来の紙媒体での情報提供が必要であることはご指摘のとおりです。今後とも電子媒体とともに、紙媒体での情報の発信・提供に努めていきます。</p>

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
7	個人	FAX	図書館の活用について 図書館は書物の閲覧、貸し出し、レファレンス機能などが基本だが、ほかに区民の交流の場にならないかと考えている。目黒区は近くに都立中央図書館もあり、オンラインによる資料の検索も可能である。そこでさらなる活用として生涯学習活動グループの発表の場にならないか。区民のコーラスグループによるミニミニコンサートや、絵画展など、狭い空間ならではの親しみ易さで、活動の宣伝や地域への還元にもなる。子ども向けの絵本の読み聞かせだけでなく大人向けの朗読会などもあれば図書館がさらに楽しい場所交流の場になる。	第3章 体系別生涯学習関連事業一覧表	八雲中央図書館	3	図書館は多くの地域の方々の利用があり、生涯学習活動グループの発表の場として有効であると思われます。一方で、ミニコンサート等音の出る催しについては、図書館利用者の理解を得ることが難しく、実施が困難である場合があります。そのため、生涯学習活動グループや関係所管との連携及び、発表の場としての利用ルール作り等が必要です。その上で、地域の生涯学習の発展に寄与するため可能な限り協力をしていきたいと考えています。
8	個人	FAX	P4に生涯学習の現状と課題について コロナ禍においてICT利用の模索が始まった。しかし社教館にはWi-Fi機能がない。ICTを学ぼうにも設備がない。施設の構造上無理であれば他に良い案がないものかと思う。	第1章 第2 生涯学習の現状と課題	生涯学習課	4	令和3年12月から、一部の区立集会施設で先行して無料公衆無線LAN(Wi-Fi)をご利用いただけることになりました。社会教育館等への無料公衆無線LAN(Wi-Fi)の設置につきましては、先行実施した区立集会施設での利用状況や、費用対効果等を踏まえながら検討していくこととしています。
9	個人	FAX	生涯学習活動団体の更なる活性化のための団体間の連携が必要 P16に、区民や団体の悩みやさらなる活性化のために団体間の連携・協力を図るための場の提供やイベントなどを提供とある。近年、学習活動をする各グループは高齢化が進み、また運営を担う人材の減少に悩んでいる。同じような悩みを抱えるグループが連携・協力し、活動の活性化を図る取り組みが必要である。1団体への支援は公金という性質上1団体のみという原則は理解できる。理解した上でこの原則の基に例えば企画を考えあったり、開催へ誘い合ったりする取り組みは高齢化の進む時代だからこそ、また生涯学習活動のさらなる活性化のために必要なのではと考える。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課	2	団体同士が連携・協力をしていくために、団体同士が知り合いつなげていく機会として交流機会はとても大切なものと考えています。今後とも交流機会の提供充実に努めていきます。
10	個人	メール	抽象的で内容が理解できなかった。	その他 全般	生涯学習課	6	具体的にイメージしていただくために、関連事業一覧表を見やすいよう工夫します。

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
11	団体	書面	<p>1. 意見 「施策の方向4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築 2 学びに関わるボランティアの育成支援」</p> <p>① 目黒区には多数の在住外国人がおり、日本人とのコミュニケーションのため、日本語の学習を希望している人が多いと思われる。</p> <p>② 他方、区民の中には外国人に日本語を教えたいと希望する人がかなりの数おられます。しかし、教えるためには、ある程度の知識・技能が必要です。</p> <p>③ そこで、ボランティア日本語教師を育成するための学習機会及びそのステップアップのための学習機会を設けることが有意義であると考えます。</p> <p>2. 要望 従来から、私どもNPO法人が行う活動に対し、目黒区から暖かいご支援、ご指導を頂いており、厚く御礼申し上げます。私どもは、今後とも引き続き、時代の変化に対応した活動を行って参る所存ですので、引き続き、事業委託、共催、後援などにより、活動をご支援、ご指導頂きますようお願い申し上げます。</p>	第3章 施策の方向4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築	生涯学習課	3	<p>学びに関わるボランティアの育成は重要でありながらなかなか進まない課題でもあります。関係団体等と連携・協力しながら、学びに関わるボランティアの育成と、活躍の場の提供に努めていきます。</p>
12	団体	FAX	<p>学習団体の現状は高齢化や会員数の減少またコロナ禍により衰退、解散が増えました。学習意欲がありながら取り残り残される高齢者を新たに仲介してくれるシステムがあると便利。</p> <p>高齢者もITCにより急変する社会に合わなければなりません。慣れ親しんだ人達と共に楽しく学べる従来型の場の提供を残して頂けるようお願いいたします。</p> <p>「誰一人として取り残さないための学習機会の場の提供」として、学習活動の発表会(パーシモンホールや区民ギャラリー)へ家族による送迎が難儀な場合、公的な送迎サポートシステムがあれば高齢者も参加をあきらめずにすみます。</p> <p>コロナ禍下、コロナ以降、生涯学習の形も変わるのではないのでしょうか……。</p>	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課 高齢福祉課	4	<p>会員の高齢化や会員数の減少は多くの団体が抱えている課題となっています。団体活動を支援するためにも団体活動を紹介し、PRしていく機会を作っていきます。また、今後もオンラインのみでなく、対面での学習や活動は進めていく必要があると認識しており、今後も力を入れていきます。</p> <p>高齢者の外出介助に係る公的サポートは、日常生活を送る上で必要な外出に限定しており、学習活動の発表会への送迎につきましては対象外となっています。</p> <p>高齢者の外出機会を増やす観点から、ご意見の趣旨は理解しますが、区が財源を投入した公的な送迎サポートシステムの構築は困難です。</p> <p>なお、目黒区社会福祉協議会が実施している住民参加型在宅福祉サービス事業では、地域の協力会員様による外出介助等を実施しています。</p>

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
13	団体	メール	<p>施策の方向3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実</p> <p>1 学習の場の提供《13事業》72 社会教育館の活用</p> <p>日頃から、幼稚園の活動や保護者会活動に、社会教育館を利用している。保護者会活動も、以前は、園内で行うことが多かったが、このコロナ禍において園内を利用することが難しくなった。社会教育館を利用できるおかげで、密にならずに活動ができること、非常に感謝している。社会教育館の職員もコロナ禍で、安全管理には大変ご苦労されていると思うが、保護者に対する声かけが、時として、非常に厳しいことがある。さまざまなご事情を抱える中で、子どもを登園させた後、いろいろとやりくりしながら、保護者会活動に参加して下さっており、中には、この活動を負担に感じてる方もいる。初めて社会教育館を利用する方も多く、そのような方々が将来、積極的に生涯学習に参加するためにも、「区民ひとりひとりが生き生きと主体的に学び、その成果や経験を地域社会に生かすことができる生涯学習社会の実現に向けて」普段から、社会教育館を気持ちよく利用できるような、あたたかい雰囲気作り、同じ注意であっても優しい言葉かけをしていただけるよう職員へのご指導をお願いしたい。</p>	第3章 施策の方向3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実	生涯学習課	3	利用者の方に気持ちよく、そして長くご利用いただけるよう、館の運営に努めていきます。
14	団体	メール	<p>2—2 自己実現のための学習機会の提供</p> <p>2—4 誰一人として取り残さないための学習機会の提供</p> <p>現在、知的障害者が参加できる生涯学習の機会は「ステップアップ講座」に限られていて、対象年齢も15から37歳となっています。区内等教育機関と連携した講座を開催し(音楽教室等)、学生ボランティアに協力を依頼するなどして、幅広い年齢の知的障害者も参加できる他の学習の機会を設けてほしい。</p>	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課	3	現在、社会教育講座は、障害の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただける講座として実施しています。区内教育機関等との連携講座につきましても大学等と調整し、より多くの方にご参加いただけるよう、学習内容や実施方法を工夫していきます。
15	団体	メール	<p>2—6 交流機会の提供</p> <p>(青少年)障害のある子どもたちは特別支援学校高等部に進学し、卒業後は就労することが多く、同世代の青少年と交流する機会が少なくなってしまう。地域でのつながりを持つためにも、障害の有無にかかわらず交流できるような青少年対象の講座を実施していただく事はできないでしょうか。</p> <p>(子ども)障害のある子どももフリークラブ事業・子ども教室に参加できるよう配慮し、障害の有無にかかわらず、居場所も確保し、体験ができる機会を提供してほしい。</p>	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課	3	<p>青少年対象の社会教育講座は、障害の有無にかかわらずご参加いただける講座です。引き続き、より多くの方にご参加いただけるよう、学習内容や方法を工夫していきます。</p> <p>また、放課後フリークラブ事業につきましても、障害の有無にかかわらずご参加いただけるものです。引き続き、より多くの方にご参加いただけるよう、内容等を工夫していきます。</p>

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
16	議会	メール	P2 計画の概要 (2)「構想」や他計画との関係性 12行目 「構想」により補強・充実する必要性～ ⇒文章が理解しづらい。「構想」をさらに補強・充実の意か？冒頭に「目黒区生涯学習推進基本構想」(以下、「構想」という。)と記載があるが、読む側から見れば、「目黒区基本構想」の記載と混同する。誰が読んでも理解できるような表記に努めるべき。	第1章 第1 計画の概要	生涯学習課	1	「目黒区生涯学習推進基本構想」(以下、「構想」という。)としている記載につきましては、理解しやすい記載方法に変更するよう改定素案を修正します。
17	議会	メール	P19 1インターネットを活用した情報提供体制の充実 区は今後LINEの積極的活用等多様な情報発信の活用をするとしている。ホームページに限定した記載にせず、SNSの活用も視野に入れた記載にすべき。	第3章 体系別生涯学習関連事業一覧表	広報課	1	TwitterやLINE、YouTube等のSNSを活用した情報発信は、一層充実させていく必要があると考えています。ご意見の趣旨を踏まえて改定素案を修正します。
18	議会	メール	P15 1時代の変化に対応するための学習機会の提供 第46回目黒区世論調査の結果、生涯学習活動を行わなかった理由のトップが「仕事や家事で忙しくて時間がない」である。計画素案では、対策として自宅で学べる「オンライン学習機会の提供」を重要方針としているが、これは何処でも学べる対策であり、何時でも学べる対策としてYouTubeの活用等「蓄積(ストック)型学習コンテンツの提供」と組み合わせる必要がある。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	DX戦略課 生涯学習課	3	「オンライン学習機会の提供」については、令和3年12月に公表したDXビジョン素案でもDXの取組によってめざすべき姿として、「いつでも・どこでも多様な価値観や文化に触れることができる」趣旨を掲げており、YouTubeを含め、その実施内容・手法等について、今後、検討していきます。
19	議会	書面	自己の充実・啓発や生活の向上のために、区民の学習権を保障し、目黒区民が生涯学ぶことができるその環境整備は、国と地方自治体の責任です。昨今のコロナ禍による学習活動への影響や、経済的な格差の広がりなどで、学ぶ機会が奪われている状況も生まれています。目黒区における生涯学習のさらなる充実が求められます。「施策の方向1 区民が学ぶきっかけとなる学習情報発信の充実」について 情報の発信や資料の提供については、ホームページの発信に留まらず、SNSや動画投稿などを通じて、区民に広く伝えること。	第3章 施策の方向1 区民が学ぶきっかけとなる学習情報発信の充実	広報課	1	TwitterやLINE、YouTube等のSNSを活用した情報発信は、一層充実させていく必要があると考えています。ご意見の趣旨を踏まえて改定素案を修正します。

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
20	議会	書面	「施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実」について 教育基本法第3条において、生涯学習の理念として、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されている。 貧困と格差が拡大する中で、経済的に困窮している区民であっても、学習の権利を保障していく必要がある。しかし、目黒区は、施設の使用料については、受益者負担を原則とし、それに基づいて社会教育館においても使用料を徴収している。生涯学習の理念と受益者負担の考え方は相容れない。生涯学習の充実のために、施設使用料の負担の軽減を図るとともに、所得にかかわらず、全ての区民に様々な生涯学習活動が保障される環境の整備を行うこと。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	資産経営課 生涯学習課	5	区では、区民の多様な活動を行う場として様々な施設を整備しており、その利用に当たっては、住民間の負担の公平を図るため、所要経費を、応益の程度により負担割合を決定し、利用者に負担を求めることを原則としており、社会教育館についても同様です。 なお、受益者負担の原則を踏まえつつも、施設の設置目的に沿った活動・利用に対する支援策のひとつとして、低廉な負担のもとに場の提供を行うため、設置目的に沿った活動団体の利用について負担を軽減する団体登録制度を整備しており、その中には社会教育活動団体も含まれています。引き続き、社会教育館等施設利用者のご意見などを踏まえながら、生涯学習活動の支援に努めていきます。
21	議会	書面	「めぐろシティカレッジの実施」について ア)コロナ禍以降、桜修館中等教育学校での講座が開催できなくなっている。今後、桜修館中等教育学校で引き続き講座が開講できるよう、目黒区として支援すること。 イ)本計画で重点事業として位置づけるめぐろシティカレッジは、年間を前期後期に分けて、連続した講座を行っている。現在目黒区の支援で、さくらプラザにおいて、講座を実施しているが、今後会場をその都度確保しなければならない恐れがある。めぐろシティカレッジは連続講座のため、目黒区5地区にある社会教育館などで、連続して会場が確保できるように目黒区として支援すること。	第3章 体系別生涯学習関連事業一覧表	生涯学習課	2	めぐろシティカレッジの実施場所については、新型コロナウイルスの影響により、都立学校の使用が難しい状況が続いていることから、主な会場として目黒区立中央町社会教育館で実施しています。今後も、めぐろシティカレッジが安定して実施できるよう区立施設の活用も含めて会場の確保に努めるとともに、都立学校の使用が可能になった場合には、都立桜修館中等教育学校と調整していきます。
22	議会	書面	「施策の方向3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実」について ①対面での学習や活動を基本としつつも、コロナ禍において、オンラインでの学習を保障することが重要である。社会教育講座やさまざまな講習会において、オンラインでの学習を保障するための技術的なサポートを行うことや、機材設備やネット環境の整備を行うこと。 ②社会教育団体はこの5年間で111団体減少している。目黒区として、なぜ減少しているのかを分析し、助言、相談体制を拡充すること。また、社会教育団体を増やし発展させるために、趣味的な講座も含め、多様な講座を企画し、仲間づくりの仕掛けを行うこと。団体を運営する際の相談体制を充実させること。講師料の増額、会場費の軽減など経済的な支援を行うこと。	第3章 施策の方向3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実	生涯学習課	3	①より多くの方がICT機器を利活用できるようになるための講座を実施していきます。また、一部の区立集会施設でWi-Fiのご利用が可能となっています。他の施設につきましては、先行実施した区立集会施設での利用状況や、費用対効果等を踏まえながら検討していくこととしています。 ②社会教育館、文化会館、青少年プラザには社会教育専門職員を置き、団体活動の相談に対応しています。社会教育講座をはじめとする学習機会提供に当たっては、継続学習につながるよう、学習内容や学習方法を工夫していきます。

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
23	議会	書面	<p>「施策の方向4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築」について</p> <p>①「学びのオーガナイザー」としての総合的な視点に立った地域全体の社会教育振興に取り組む社会教育主事の役割はますます重要である。この間、社会教育主事が3人から1人に減らされている中で、グループ作りの助言や相談の体制が弱まり、地域団体への支援が困難になっている。社会教育団体が減少している中で、スポーツ推進の分野、青少年活動の分野など、さまざまな分野での団体の活動を、社会教育の立場で支援する必要がある。今後さらに専門職員がいなくなる事態になれば、これまで積み上げられた知識と経験がなくなってしまう恐れがある。専門的な知見を持つ、社会教育主事など専門職員をきちんと配置し、人材の育成に努めること。</p> <p>②めぐろ歴史資料館や、文化財の保護・保存にあたる学芸員は現在1名しか配置されておらず、体制の強化が求められる。①と同様、学芸員などの専門職員についても、適切に人材を配置すること。</p> <p>③今年度から新たに社会教育法等に基づく「社会教育士」が創設された。目黒区民の社会教育を保障し、多様な学びの機会の提供することが求められる中で、社会教育士は社会教育施設と学校、コミュニティ団体などの地域の中で、連携調整役としての活躍が求められる。目黒区として、こうした社会教育士の活動を、きちんと計画に位置付け、人材の育成と活用に努めること。</p>	第3章 施策の方向4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築	生涯学習課	4	社会教育主事、学芸員等の専門職員の配置については、今後検討していきます。社会教育士については、始まったばかりの称号であり、その活用等については研究が進められているところです。他自治体の動向等を参考にしながら、具体的にどのような場面で活用していくかは検討課題とします。
24	議会	メール	生涯学習に関しては人生100年時代に合わせ、リカレント教育の重要性が叫ばれている。単に地域の講座に参加することのみならず、一度就職した人が大学や大学院といった高等教育を再度受けなおすという視点での施策も考えるべきではないか。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課	4	「リカレント教育」については、今後ますます必要な取り組みになってくるものと認識していますが、一度就職した人が大学や大学院といった高等教育を再度受け直すという視点での施策につきましては、他区の実施状況や今後の区民ニーズを踏まえながら、検討していきます。
25	議会	メール	生涯学習に関して、土業の資格取得のための講座開設なども検討されたい。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	生涯学習課	4	社会教育講座は、教育委員会基本方針や社会状況等をもとに取り組むべき課題を設定し、公共性・公益性の高い講座を提供しています。社会的・職業的自立に向けた学習支援を行ったこともありますが、資格取得については、他の取り組むべき課題とのバランスも含め今後の研究課題といたします。



整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
26	議会	メール	リカレント教育については区内や近隣に立地する大学や高校などとも連携し、積極的な機会を提供して頂きたい。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会 提供の充実	生涯学習課	1	これまで、幅広い分野の社会教育講座を実施するとともに、区内教育機関等との連携講座では、多様な学習資源を活用した学習機会を提供してきました。今後、リカレント教育という視点での講座の開催についても、関係機関と意見交換するとともに、学び直しのきっかけにつながる講座の提供について記載するなど、改定素案を修正します。
27	議会	メール	P20 区民にとっての学びのニーズに応えるため、「区民・団体の生涯学習活動支援の充実」に関して、区で実施している生涯学習プログラムについての発信を強化されたい。	第3章 施策の方向3 区民・団体の生涯学習 活動支援の充実	生涯学習課	2	生涯学習情報の発信につきましては、これまで行ってきた、めぐろ区報への掲載やホームページ、紙媒体での周知に加え、SNSを活用した情報発信についても充実させていきます。
28	議会	メール	P3.図1位置づけのイメージ 関連計画の1番目「目黒区男女平等・共同参画推進計画」は令和3年度までの計画で現在、改定作業中である。既に素案として次期計画名が「目黒区男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進する計画」と示されている。前文でSDGsについても記載があり、新しい計画名の方が、時代に即したものとする。よって新しい計画名に記載を変えるべきと考えるが、見解を伺う。	第1章 第1 計画の概要	生涯学習課	1	次期計画名である「目黒区男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進する計画」に記載を変更するよう改定素案を修正します。
29	議会	メール	P16.3課題解決のための学習機会の提供 文中にP20.体系別生涯学習関連事業のNo.28に新規事業として講座の実施を謳っているのだから「性の多様性の尊重」についても記載すべきと考えるが、見解を伺う。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会 提供の充実	生涯学習課	1	性の多様性の尊重について記載を加えるよう改定素案を修正します。

整理番号	提出者	種別	意見内容	項目	所管	対応区分	検討結果(対応策)
30	議会	メール	P16.4 誰一人として取り残さないための学習機会の提供 不登校児童生徒が卒業年次を超えてから、後からでも学び直しができるよう基礎教育を受ける機会を設けるべきと考えており、「めぐろ学校教育プラン改定素案」のパブリックコメントにも同意見を出したが、「生涯学習課」と「めぐろエミール」でよく協議して、その実現に向けて努力して頂きたい。また、対象項目に追加すべきだと考えるが、見解を伺う。	第3章 施策の方向2 区民の学習・交流機会提供の充実	教育支援課 生涯学習課	1	めぐろ学校サポートセンターでは、4歳から18歳までのお子さんに対して教育相談を実施しています。 また、学習支援教室「めぐろエミール」では、区立小中学校に在籍しているお子さんに対して、学習支援や居場所機能の充実を図っています。 現状では、高校生相当の生徒が使用する学習室や指導者の確保が困難なため、対応が難しいと考えています。 また、青少年を対象した社会教育講座は、どなたでもご参加いただける講座として実施しています。学習機会の提供については、学習意欲を持ちながらも、様々な事情によって学習に参加できない人にも配慮していることが伝わるよう、改定素案を修正します。なお、具体的な事業については、今後の検討課題とします。
31	議会	メール	P19.体系別生涯学習関連事業一覧表 No.1「インターネットを活用した情報提供体制の充実」について、単なる前計画からの継続ではなく、今は区公式LINEで、区民が興味のある項目を登録すれば、プッシュ型で情報を発信できるようになっているのだから、LINEの効果的な活用も検討し、記載すべきと考えるが、見解を伺う。	第3章 体系別生涯学習関連事業一覧表	広報課	1	TwitterやLINE、YouTube等のSNSを活用した情報発信は、一層充実させていく必要があると考えています。ご意見の趣旨を踏まえて改定素案を修正します。
32	議会	メール	P20.No.16にある新規事業だが、町会から加入促進や地域活性化のため、ホームページ等の作成費や維持管理コスト(HPの運営委託費)への助成を要望する声があり検討すべきと考えるが、見解を伺う。	第3章 体系別生涯学習関連事業一覧表	各地区サービス事務所	4	本助成金事業は、平成29年12月に策定した「コミュニティ施策の今後の進め方」に基づき、町会・自治会、住区住民会議の地域コミュニティ活動の活性化への支援として当該団体がイベント他各種情報等をより効果的に発信できるよう実施するものです。HPの運営委託費等の助成については、各団体自身の活動運営費からの対応していますが、今後も町会・自治会など全体の状況等も踏まえながら検討を継続していきます。
33	議会	メール	P21.No.38高齢者対象の講座・講習会の実施に、今日的な課題であるデジタルデバイド解消のための「スマホ教室」の実施も記載すべきと考えるが、見解を伺う。	第3章 体系別生涯学習関連事業一覧表	高齢福祉課	3	コロナ禍を契機に、DX(デジタルトランスフォーメーション)があらゆる場面で進んできています。このため、オンラインでの社会参加等、ICTの活用により、高齢者の生きがい活動の場が広がるように、高齢者センター及び老人いこいの家においてICT活用講座を実施することで、支援を行っています。なお、デジタルデバイドの解消については、別途、パブリックコメントを実施している「目黒区DXビジョン」において、「DXの取組によって実現をめざす姿」として示しています。